

第1回岡山大学病院の医療安全に係る外部監査委員会議事要旨

日 時 平成29年6月22日（木）16時00分～17時05分

場 所 岡山大学本部棟第2会議室

出席者 【監査委員】

石川委員，松井委員，清板委員

【大学・病院】

榎野学長，金澤病院長，塚原医療安全管理責任者，千堂医薬品安全管理責任者，
鉄永 GRM(ゼネラルリスクマネジャー)，橋本 GRM，市川 GRM，森田 GRM，
保田 GRM，直原医事課長，藤原法人監査室長，恒國医事課主査，渡辺法人監査室
主査

議事に先立ち，本委員会の委員長の選出までは，藤原法人監査室長が進行を務めることについて諮られ，了承された。

榎野学長及び金澤病院長の挨拶があり，続いて，監査委員及び大学・病院の出席者の紹介があった。

議 事

1. 委員長の選出について

藤原法人監査室長から，岡山大学病院の医療安全に係る外部監査に関する規程第7条に基づき委員長の選出を行う旨の説明があり，委員の互選により石川委員を選出した。

2. 医療に係る安全管理体制について

石川委員長の指名により，塚原医療安全管理責任者から資料①に基づき，医療に係る安全管理体制について説明があった。その後，医薬品に係る安全管理の強化に関する項目については千堂医薬品安全管理責任者から説明があり，続いて次のとおり種々の質疑があった。

(委員) 近年，特定機能病院で問題となったような重大な医療事故については，岡山大学病院ではどの部署が把握しているのか。

(病院) 全死亡事例について医療安全管理部へ報告され把握した後，管理者へ報告している。

(委員) 医療系部局生命倫理審査委員会の臨床研究審査専門委員会は，臨床研究にかか
るものだけが対象なのか，医療安全とは連動しているのか。

(病院) 連動している。高難度な新規医療技術を行う場合は、高難度新規医療技術安全管理部門で審査している。また、保険適用であっても本院で実施したことのない医療技術ならば高難度かどうかに関わらず審査している。

(委員)「ガバナンス確保（報告体制と事例検討体制）」の図に記載のある「予期せぬ死亡」かどうかの判断は、病院側と遺族側では違うのではないか。

(病院) 全ての死亡事例は医療安全管理部に報告され、GRM が当該診療科と遺族の判断のずれを埋めるようヒアリング等を行っている。

(委員) 病院として「予期せぬ死亡」の基準はあるのか。厚生労働省の通達どおりか。

(病院)「予期せぬ」の基準は難しいため、個々に検討している。その中で情報を隠さず開示することが大切と考えている。診療科等が「予期せぬ死亡」か判断が難しい場合は、会議を開いて検討している。

(委員) 相互のピアレビューは、監査事項が漠然としているが、何を中心に行うのか。

(病院) 資料②の特定機能病院間の相互ピアレビューのところに記載されている「技術的助言の内容」の5項目にポイントを絞って行う。

(委員) 今までに医療事故調査・支援センターに報告したことがあるか。

(病院) 全ての死亡事例を医療安全管理部で調査・検討した結果、報告した事例はない。

(委員) 医薬品の情報提供をする際、確認書を返信させているが、院内への周知はどの程度か。

(病院) 情報伝達者が各診療科に配置されており、必要な職員全てに伝達されている。

以上、審議の結果、安全管理体制については、特段指摘はなされなかったが、特定機能病院の承認要件である専従の医師の配置及び相互のピアレビューを今年度中に着実に実施してほしい旨の意見があった。さらに、医療者側と患者側の「予期せぬ」の感覚のずれを埋めるよう引き続き丁寧な聞き取りと説明に努めてほしい旨の意見があった。

3. その他

(1) 次回議題について

石川委員長から、次回議題案について照会があり、後日調整することとなった。

(2) 次回開催日について

次回開催は、11月～12月の予定で、日程調整の上、決定することとした。